

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習 I		
担当者(Instructors)	竹越 美奈子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

授業の目的は、異文化を理解することにより、自分の文化について改めて考え、自分の意見を発信できるようになることです。具体的には、テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、参加者全員によるディスカッションによって行います。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テキストの講読、プレゼンテーション、ディスカッション等による

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	ゼミの進め方についての説明、自己紹介など	<input type="checkbox"/>
第2回	テキストの講読(1)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(1)	<input type="checkbox"/>
第3回	テキストの講読(2)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(2)	<input type="checkbox"/>
第4回	テキストの講読(3)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(3)	<input type="checkbox"/>
第5回	テキストの講読(4)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(4)	<input type="checkbox"/>
第6回	テキストの講読(5)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(5)	<input type="checkbox"/>
第7回	テキストの講読(6)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(6)	<input type="checkbox"/>
第8回	テキストの講読(7)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(7)	<input type="checkbox"/>
第9回	テキストの講読(8)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(8)	<input type="checkbox"/>
第10回	テキストの講読(9)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(9)	<input type="checkbox"/>
第11回	テキストの講読(10)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(10)	<input type="checkbox"/>
第12回	テキストの講読(11)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(11)	<input type="checkbox"/>
第13回	テキストの講読(12)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(12)	<input type="checkbox"/>
第14回	テキストの講読(13)	テキストの講読とプレゼンテーション、ディスカッション(13)	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	まとめ	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

自分で授業前に教科書の該当ページを読んで疑問点をまとめておき(2時間程度)、授業後に改めて興味を持った点についてさらに調べてまとめる。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

学生のプレゼンテーションに対しては、演習時間内にコメントし、全体で共有します。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	テキストの講読を通して、韓国の暮らしと文化についての基礎知識を習得し、それについて自分なりの考えや意見をもつことができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	テキストの講読を通して得られた知識と自らの経験を基に、創造的に考えて課題について判断し、自分の考えをプレゼンテーションという形で表現、発信できる。

主体性	◆ 2019全学共通DP3	他の学生のプレゼンテーションを聞いて、他の学生の中でディスカッションし、問題を解決することができる。
-----	---------------	--

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	館野哲『韓国の暮らしと文化を知るための70章』明石書店	9784750337388
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		